

# 談話会通信 No. 55

## 東京蜘蛛談話会

梅の實の熟する頃と見ました。梅雨の季節の到来です。ご自身の健康に、くちくちも留意されて、おこなに、フエの研究・観察に励んで下さい。

✎ 新入会員の方です。よろしく。

- ・ 猪万清人 〒473 豊田市花園町井田74
- ・ 小半光弘 〒180 武蔵野市吉祥寺本町2-40-21

✎ 住所変更の方です

- ・ 田中徳積 〒584 富田林市藤沢台7丁目6番27号

### 夏の採集・観察会のお知らせ

日時：7月6日(日) 午前10時集合

場所：山梨県扇山(国鉄鳥沢駅にご集合下さい)  
新宿より1時間30分です。

お問い合わせ・連絡は、松浦(03-392-9962)まで。

### 夏合宿について

期日：7月26日(土)～7月28日(月)

場所：山梨県丹波山村保之瀬

宿泊先：しらかば荘 Tel. 04288～8-0841

参加を希望される方は、早番まで電話と7月5日までに事務局、松浦まで、連絡下さい。

合宿場所について詳細をお知りになりたい方は、

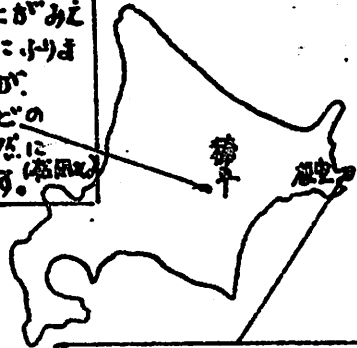
村上房枝(045-941-3121)まで、連絡して下さい。

\*予定していたほしては、青梅探、奥多摩駅、11:30頃に、

集合を予定しております。

# よせりコーナー

椿牛も、ようやく雪がとけ土がぬかるようになってきました。子供に小りまわされることの多い毎日ですが、釋有竹の道徳や散歩などの楽しめた時間とも、自然に目を向けたらと思っております。(高田)



(岩手県 盛岡市在住の片岡さん)  
正月に、ニューカレドニアに行きました。今、中津在住当時の児童の習字があり、時々見せて下さる。お正月の飾りにかこまれ、たのしんでいます。

昨年4月～8月10日にかけて、メキシコ→アラスカ 縦断探鳥旅行をしてきました。目下エラクにおかれています。1ヶ月も砂漠を歩いたのに、クランチュには、小池ではいきました。そのおわり、グロウウイドには、あることができました。森林地帯のキャンプ場のトイレには普通のようど、「踏かける前にフタをみりて確認を」といわれました。(高田)

剣公、親公のご慶会を祈り、お天候に日、雪しおおめにむすことと存じます。どうぞよろしく。おぬがいます。(片岡)

4月から有田進竹校に乾燥に目をつけて、毎日、粒研用究にたいご。学生時代に、じぶみおな、地蔵、肥田の毎日です。しかし、何かしきをおつて、シビグモの飼育とつがっています。(片岡)

元氣でもよります。みまほによろしく。おぬと下はせ(片岡)

動物園(稚校)がかりました。少しづつ、ヒマがどまてくたの、ぬをみる時間があればいいなあ...と思っております。(片岡)

おぬが、又存じます。慶会を祈ります。(片岡)



今日は、ズグットハシリグモの生活状態をよとめたいとおもっています。(中平)

若山牧場の生産地に、来月1月に目をつけました。また、ワグツキグモの稚牛地も30名の所ど生活しています。何とか生活にむかえてきたので、多量をのびし、目をみはり、採集したいとおもっています。伊公、親公と祝賀。(片岡)

1986年3月9日、M10 オオヒグモが今年、はじめて不規則網をはりました。1日中の最高気温は、17.3℃でした。毎日、このクモをみるのが、たのしです。野外(2)を1日、424Xしています。(片岡)

・お便りコーナー (1月号の付録より)

・お元氣ですが、今月は、陸協会の方にも、よく参加したいと考えております。小は5mm程度のクモでも、意外と長生きするもの。例のユカタヤマシログモは、3回めの越冬をおえ、2年8ヶ月を生き延びております。ヤシノウエの子も、みな健在です。ウスレの子も、ふじ冬をこえました。

(世田谷の粒工)

・毎度、出席はするものの、なかなか、ノモ摩積がすすみませんが、よろしくおねがいします。

(世田谷の小沢工)

・アズマヤシダグモを40頭以上採集して、飼育していますが、エサの確保と観察におわづら、忙しい毎日で。又、エサで昆虫とクモの衝突をくりました。

(世田谷の植原工)

・別公では、ジゴモの道産にフカ、発表したいとおもっております。

(日野市の菅嶋工)

・先月のため、又も残念ですが、出席できません。(4月日曜日に、本居島へいも、トゴシグモ(*Cyclosa multinensis*)にかこまれて、11-12日と二晩おりました。雲ど、たぬごした。) 今月も、どうぞ、よろしくおねがいいたします。(日野市の高野工)

・ひとしづかに、お休むべくも、ときどき、おもしろいほどの新種にかかちいて、おぼろげに、生物の、もとも清助する所々、今月は、と、くもたらと、近づきたいとおもっております。

(伊東市の山本工)

・支那清助という、死とは、あまり持たない所。しかしながら、死の語を知らずにはいけません。人にむかえを教えること、この、おぼろげに感じています。お母さん、子供たちと、おぼろげに、共に死んで、自然に帰る。忘りにむかうと考えております。

(羽村町の熊田徳恵工)

・予定していた、フィールドの仕事が、流れてしまいましたので、ポツカリ穴があいたような、空の時間ができてしまいました。おぼろげに、今月は、採集会等にも、参加したいもの、考えております。どうぞ、よろしく。

(多摩市の吉谷工)

・別公では、「こしき(hub)」について、発表しますので、よろしくおねがいします。

(国分寺市の新海州工)

・4月に転勤し、新しい学校、新しい生徒、新しい生徒(6年生)にかこまれ、ジャンジャンの毎日をおこなっています。

(杉並の梅林工)

★ 千葉の浅間工

・残念ですが、当月、都合がわるくて、出席いたしません。

★ 群馬の杯工

・世元の調査がありまして、今月は、支那工せいでいただきます。盛会とお祈り申し上げます。

・お便りコーナー (神奈川の方より)

・入会や小やど、どの程度まで、入話についていけるか疑問ですが、よく了解し致します。ワラグモに興味があります。(横浜の田副さん)

・このところ公私にわたって、忙しな状況でいろいろと行事にも参加できなご残念におもっています。(横浜の村田さん)

・家庭の事情により、クエの観望は、一時停止しております。誠に残念ですが「我慢」をしております。(横浜の佐藤さん)

・先日分家のおりのクエを見えし、はとんど私の部屋にひらいているクエはかつどすが、おがらが楽しいおど。(横浜の井上さん)

・今日は、我が最愛のネコ(ストリ)とともに、おごりごとがごまエウど。今日は、おまが主催しているゲーテ植物学会の総会とぶつがごはまはした。お席とおかびします。皆様におお。(大和市の青藤さん)

・5月の中・下旬は、ニつの学芸大会とツの野外調査をががし、何とが有給をつりよと、月程の工面をしてみましたが、やぱりダメでした。皆様によろしく。(横浜の近藤さん)

・おEにがごは、ごまEのど、寺林の拝堂公とあめよと訂画しては、

け田原城内高夜  
玉柳研究部)

・御無沙汰いたしております。長男(乙子10ヵ月)は、クエの風鑑をかめのが、お呼びを。この夏には、一箱に採集、観察にこころと思っております。(横浜の山川さん)

・西長島と石垣島でとってきた。クエの整理と、飼っているクエのための餌とりをしている所です。電話boxの中でエウにする虫をとりま。おもしろいことではありません。(川崎の五味さん)

・この春、西長島と採集(クエとビクエ)どごのどいごお月です。(横浜の谷川さん)

・連絡がふたふた、申し訳ありません。また、クエが活発に活動をはじめ、楽しい季節になりました。(二宮町の稲葉さん)

・街五の島田さんより、  
・申し訳ありませんが、お席をきま。皆様によろしく。

おがごは、おたより。  
・おだりお持ちいたして  
よろしくお願ひ申し致します。  
(通信採集さん)

東京クモ談話会  
昭和60年度会計報告

収入の部 ¥ 820.758

前年度繰越金 ¥ 464.558

会 費 ¥ 209.400

内 訳 (前納) 63.800

(後納) 145.600

寄 付 ¥ 101.400

別 刷 代 ¥ 42.400

バックナンバー売上げ ¥ 3.000

支出の部 ¥ 325.430

刊行物作成費 ¥ 205.000

通 信 費 ¥ 97.880

運 営 費 ¥ 6.670

備 品 費 ¥ 1.500

消 耗 品 費 ¥ 13.780

雑 費 ¥ 600

差引残高 ¥ 495.328

昭和61年5月11日

会 計

井上 麻枝子 (印)  
小池 牧子 (印)

会計監査

小沢 奥樹 (印)  
林 俊夫 (印)

上記の通り相違ありません

都合により、61年度予算案は、次号の通信で報告いたします。

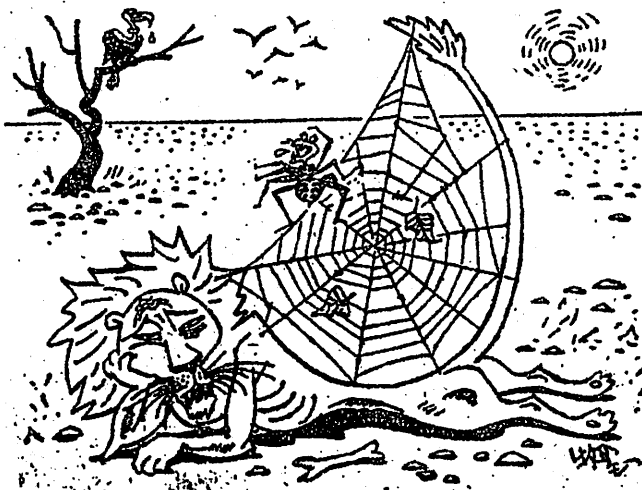
# 会費納入状況

昭和61年5月17日現在

- ・昭和60年度 .. 片岡佐太郎, 高田勝, 沢川喜朗,  
福本伸男, 鈴木勝浩 (敬称略)
- ・昭和61年度 .. 川中稔積, 吉田茂, 吉谷昭憲, 加村隆英,  
中平清, 新海明, 五味秀人, 依久間良三,  
谷川明男, 菅嶋泉, 具茂憲治, 赤口常一,  
加藤輝代子, 石野辰夫, 福本伸男,  
福山昭二, 鈴木勝浩, 吉倉真, 八沼健夫,  
近藤昭夫 (敬称略)
- ・昭和62年度 .. 佐藤幸子 (敬称略)
- ・御寄付 .. 石野辰夫様 200円

会費についてのお問い合わせは、社上(045-941-3121)か、小池(044-588-5422)まで

# 食べる



(牧野圭一)

左の記事は

梅杯より

いただきます。

(ヨリ新聞)

# SCIENCE NEWS

Quark 1985 January

P. 8

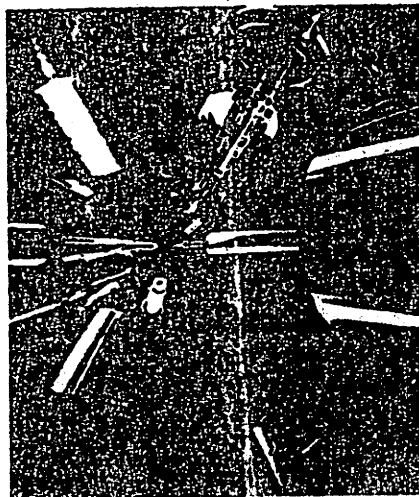
## レーザー核融合装置にクモの糸が張る理由!

右の写真は、人間の髪の毛の太さより小さな直径の微小球。これを左の写真のレーザー核融合実験装置に入れ、120億キロワットの24本のレーザー光線を当てるのだ。

しかしここに問題が起きた。この小さなガラス玉を、どうやって装置の中に吊すかだった。

アメリカ、ニューヨーク州のロチェスター大学の研究員たちは、その答えを裏庭で見つけた。というのも最適な材料はクモの糸だったからである。写真にも写っている絹のようなクモの糸

は、ガラスの糸より細く、強く、しかも粘着性がある。

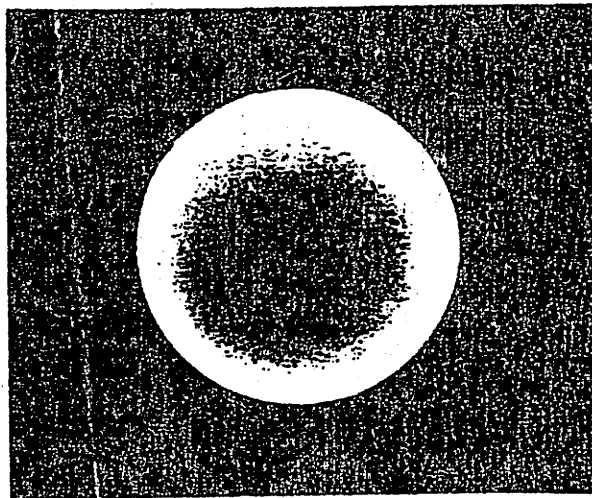


Don McDill/Don Win Studios

このガラス玉には重水素や三重水素が入っており、9000万度のレーザービームで熱せられ、水素原子のいくつかが融合して

ヘリウムができて、エネルギーを放出する。

クモの糸がそれを支えているわけて、大した働きだ。



Luke Whisaker/University of Rochester/the Laser Fusion Feasibility Project at Lab. for Laser Energetics

梅杯エシよりいただきました。

・ 本年度の例会・我々は、5月11日に、  
 入橋氏会館でおこなわれました。  
 18名の公費の方々が参加されました。  
 講演内容は、池田氏の「稲葉氏が  
 「ウツグモの未記録種について」、  
 新海明氏が「こしきについて」、  
 磯林氏が「形並屋内のクモについて」、  
 谷川氏が「阪長島ごめとそのpart」、  
 青藤氏が「コウソウグモの記録について」、  
 として、最後に新海栄一氏が  
 「分類体系について」発表されました。  
 また、我々の席上、国見エシに代わって  
 熊田氏が運営委員として承認  
 されました。国見氏、長いおだ  
 と昔勞様でした。

・ 東亜蜘蛛学会創立50周年記念  
 入会（東亜蜘蛛学会第18回大会）  
 が、東京都立大学で開催されます。

8月23日(土)～24日(月)に、東京都  
 立大学学館で、東亜蜘蛛  
 学会の記念大会がはじまります。  
 学会員以外の方も参加すること  
 ができます。入会参加費は  
 4000円です。くわしくは、  
 新海栄一氏まで、問い合わせ下  
 さい。

〒185 国分寺市 本多1-6-6

シカイ写真館内

tel. 0423-21-0289

0423-25-1710

### 事務局より

・ 今年度から kishidaia の編集が、  
 嶋川氏より、熊田氏に変わりました。  
 会誌の厚稿は、熊田氏のほうに、お  
 くりいただけます。お願いいたします。  
 熊田氏は、御多忙にも関わらず、  
 運営委員と引きつりて下りました。よろ  
 くお願いいたします。

・ 公費の納入は、お任せに、おゆがい  
 いたします。口座番号は、

横浜 0-1460 です。

・ kishidaia の厚稿、通信の厚稿と  
 おくりいただけます。おゆがい  
 いたします。

[事務局] 松浦祐司 03-392-9962

〒167 杉並区 荻窪 3-7-6-207

[kishidaia 編集]

熊田寛一 0425-55-4462

〒190-01 西多摩郡 羽村町

羽加美 3-6-31

[通信 編集]

鈴木勝浩 0489-91-2984

〒343-01 北葛飾郡 硝子町

硝子 3385

探訪会通信 No. 55

1988年6月8日発行

東亜蜘蛛学会